

北栄町国民健康保険運営協議会会議録

日 時 平成24年3月1日(木) 午後7時30分～9時15分
場 所 大栄農村環境改善センター 2階会議室
会議に招集された者 北栄町国民健康保険運営協議会委員
出席者 津島 稔、田中 陽子、遠藤 玉恵、安田 知章、岡本 恒之、石川 悦子
説明のための出席者 健康推進課長 磯江昭徳、 税務課長 杉川弘行
国保医療係長 杉川あゆみ
会議に付した事項 別紙資料のとおり

会 議 の 要 旨

開 会
磯江課長

午後7時30分

第2回国民健康保険運営協議会を開催します。

名簿に沿って出席者の紹介。

昨年度、今期の運営協議会開催から本年度5月開催運営協議会の経過説明。昨年度末段階では、税率改正の話もあったが、5月になって、税収がある程度見込まれ、税率改定を行わずに今年度がスタートした。平成23年度の医療費経過報告。前半期は伸びが大きかったが、後半期は伸びが落ち着いた。本年度決算については、一般会計からの3,500万円の赤字補填分繰入金を算入した上ではあるが、赤字を回避できそうである。

平成24年度の状況説明。ある程度の所得(税収)は見込まれ、医療費も大幅には伸びずに5%程度の伸びを見込んで、税率をあげなくてもいい形で予算が組める見込みとなった。

日程に沿って、3. 会長・副会長の選出について、皆さん新たに委嘱となられたので、会長・副会長の選出をしたい。法律で会長・副会長は公益代表の中からということになっているので、安田さん遠藤さんどちらかが会長、どちらかが職務代理ということになります。〔選出方法について提案したところ、委員より安田委員を推薦する旨の声あり(安田委員了承)〕。安田さんが会長、遠藤さんが職務代理(副会長)ということですのでよろしくお願いします。

安田会長

それでは、議事に移ります。会議録署名人の選出をといことで、何か案があればお願いします。

事務局(杉川係長)

田中委員さんと岡本委員さんということですのでお願いします。
(田中委員、岡本委員了承)

安田会長

協議事項に移ります。
協議事項(1)平成23年度北栄町国民健康保険特別会計決算見込につ

いて説明をお願いします。

杉川係長 資料に基づき説明 <資料1>。

安田会長 これが協議事項になるのはどういうことなのか。
報告事項ならば、次に進める。

磯江課長 決算見込みなので、協議していただく部分はありません。運協でこの次期に状況を報告させていただいています。

安田会長 では、次に進めます。
協議事項(2)平成24年度北栄町国民健康保険事業計画(案)について説明をお願いします。

杉川係長 資料に基づき説明 <資料2>

安田会長 何か質問がありますか。

田中委員 5ページにジェネリック医薬品のことがでていますが、その広報の方法で、6ページにも出ているが、TCCさんに宣伝をしてもらおうように働きかけてはどうか。活字より、目で訴える方が効果が大きいと思うので、是非、宣伝してください。

岡本委員 政府は、医療費削減だけを言っているが、効果、安全性は出ていない。効果があればもっと普及している。

津島委員 レセプト点検員の雇用日数を増やすとあるが、昨年あたりからレセプト点検員を入れられたと思うが、雇用日数が足らなかったということか。

杉川係長 足りないということではなく、常駐の点検員以外に中部地区をまわってもらっている、より経験年数が多い点検員さんの日数を増やすということです。

津島委員 去年、点検員の資質向上を図るとなっているが、それができていないということなのか。

磯江課長 結局、全部(完璧)に見きれないのが実態。より漏れがないように見ようと思えば、相当な人数が必要になるので、短時間で効果的な点検ができる方を連れてきた方がいいということで、その方の日数を少し増やそうと考えている。

杉川係長 レセプト点検には、資格点検と内容点検という点検があるが、内容点検の

方は、年5回研修があるわけだが、相当経験年数を積まないと実績につながらない。

津島委員

資格喪失者の受診への対応のところだが、今何人くらいあるのか。

4ページに保険証回収を完全に行いとあるが、これは行われていないということですよ。

杉川係長

社保に加入されて、国保喪失の手続きに来られるときは、社保の保険証があれば手続きができるので、国保の保険証を持ってきておられないことがある。そういう場合は、後日持ってきてもらうように依頼するとか、県外転出の方などは、返信用封筒を渡して返信してもらうよう依頼している。

安田会長

この計画書というものは、毎年度作っておられるのか。

磯江課長

毎年作っています。

安田会長

作っておられますよね。それで、さっきの説明で、去年とここを変えましたという説明だったが、あまり変わっていないというイメージがある。例えば、先ほどの資格喪失後受診の対応のところでも、何ができて、何ができなかったのかを説明されないと言葉が踊ってしまう。

ということで読んでいくと、3番のレセプト点検のところでも、書いてあるが、実態は何なのかよく分からない。資質向上のために研修を増やすのか、専門員を増やすのか。申し訳ないが、5ページに至っては、何が書いてあるのか全く分からない。例えば、受診率が低いので30%台だから、60%にできないという言い方ではなくて、60%にするためには、どういう手立てをするのか。で去年とどこが違うかといえば、同じことなんでしょ。例えば、集落ごとで受診率が極めて低いところがあれば、そこを重点地域みたいに定めて、具体的に引っ張り出していくとか。何か違うことをやらないと。去年の計画書を年度変えて数字変えただけと読めてしまう。言葉きついで

磯江課長

どちらかという、数字を変えて作成しているという形です。

安田会長

それはあまり意味がない。と思いますが。

食生活改善推進員との連携がほとんどできていないと私もよく聞きます。

6ページの一番最後のところ「悪質な滞納者には・・・」とあるが、滞納者には、悪質な人というのがいるんですね。

杉川課長

お金は持っているが、税金を払いたくないというような人です。

安田会長

なぜ、そういう人が分かっている、強制執行しないの。

杉川課長

そういう場合、差し押さえなどの強制執行をやっています。

安田会長 要するに何が知りたいかというのと、滞納者が何人おって、何人を23年度に強制執行しましたかというのが知りたい。

杉川課長 国保だけの資料は持ってきていませんが、国保以外も含めた数は、預貯金の差し押さえ、給料の差し押さえ、動産の差し押さえの案件は、30～40件です。

安田会長 何が言いたいかというのと、23年度全部やってしまったら、24年度書かなくても言いのではないかという話。それで、23年度にやり残したのなら残したのなら、なんで残したのかという話。
淡々と去年と同じ事を書くようであれば、作る必要はないという話。

磯江課長 国保事業の体制はほとんど変わることがないので、計画書の取り上げ方についても大きく変わる形では考えていなかったと反省しています。

津島委員 5ページに日曜健診のことがうたってあるが、1回ですよ。増やすことはできないんですか。

磯江課長 保健事業団に健診の委託をしているが、各町村まわって割り当ての日を決めている。土・日は割増料金になることもあるが、なかなか簡単には日程調整ができないのが実態。日曜日を増やすのは、難しい状況にある。集団健診ではなく、医療機関受診もできるので、医療機関に行っていただく方法もある。また、本当に休みにしかいけない人が行かれる場合なら良いが、平日も行けるのに、日曜日があいているから日曜日にされると、混雑することも予想される。

安田会長 それはあくまでも予測なのだから、必要であれば土日を増やしてみても。

磯江課長 基本的に国保の方は、会社勤めの方ではなく、農業の方が多いので、自営業の方もおられるが、平日開催であまり影響ないと考えている。だが、いろいろなケースの方がおられるので、休日実施等を取り入れてきている。

安田会長 要するに、受診率向上のためにどれくらい死にもの狂いでやるかという話。できない方向で話しをするのではなく、やる方向で議論をすれば今のような話になる。
他にありますか。

田中委員 これはまあ、病気になって人を対象にいろいろな話をしますが、病気にならない予防策をもっともっと強化するというか対策を考えていくことが大事ではないかと思う。行政だけにまかせるのではなくて、住民も、食推、健康サポーター、健康推進員などがいるのだから、みんなでスクラム組んでやっていきませんか。

安田会長

5ページ(3)などでも、大きな項目としてひとつ取り上げてもいいのではないか。

他に何かありませんか。ないようでしたら、これはどう扱うのですか。

この計画(案)については、もう一度具体的に現すなどして練り直してもらい、5月の会で再提案してもらおう。

ということで、2号議案は送ります。よろしいでしょうか。

(委員了承)

安田会長

次に、協議事項(3)平成24年度北栄町国民健康保険事業特別会計予算(当初)について説明をお願いします。

杉川係長

資料に基づき説明 <資料3>

安田会長

何か質問はありますか。

一般会計からの繰入は想定していないが、赤字になった場合は25年度からの先食いしていくのか。

磯江課長

はい。繰上充用になります。それまでに、大きく支払いができなくなることが想定された場合は、歳出で医療費を増やし、一般会計からの繰入や税率アップで歳入を賄いますが、年度途中では、税率アップはできないので、一般会計からの繰入で補正予算を組みます。

津島委員

税収は増えるのか。

磯江課長

一人当たりの税収は増える見込みですが、保険者数が若干減る見込みですので総額は昨年の6月補正後額との比較では減る形になります。

安田会長

では、(3)については、聞き置くということで

(4)その他について何かありますか。

磯江課長

国の国保制度見直し案について説明。(平成27年度に向けて、医療費、国保税を県下で統一しようという動きがある)

安田会長

6 その他 なければ本日の会を閉会したいと思います。

お忙しい中、今日はありがとうございました。

閉会9時15分

北栄町国民健康保険運営協議会

会 長

署名人

署名人